



特集

2025年4月に設置構想中の医学部保健医療学科(仮称)リハビリテーション学専攻
模擬患者に対するの実習風景を撮影するなど着々と準備を進めています(→P3)
(写真はイメージで、実際の実習とは異なる場合があります)

特集① 滝子キャンパス・田辺通キャンパスの 再編整備プロジェクトが進行中!

特集② 寄附講座「近世名古屋学」開設 せんだ よしひろ 千田嘉博教授が名市大に

特集③ 2025年4月 医学部保健医療学科(仮称)リハビリテーション学専攻開設を構想中

特集④ 2023年度 夏のオープンキャンパスを開催しました

01 特集

04 NCU TRY!!

05 TOPICS

08 国際交流

09 学生の活躍

10 受賞関連

11 イベントカレンダー／寄附顕彰

DONATION

あなたの力が支えます

ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

問合せ：総務部 総務課
tel.052-853-8005

滝子キャンパス・田辺通キャンパスの再編整備プロジェクトが進行中！

現在計画が進んでいる本学のキャンパス再編整備のうち、まずは1期整備として今年度から設計が始まった滝子・田辺通キャンパスの再編プランを少しだけ公開します！

再編の背景・目的



本学では、昭和40～50年代を中心として建設された施設の老朽化・狭隘化が進行しており、これらへの対策が喫緊の課題となっています。本学の施設は、学生・教職員の教育研究活動の場であるとともに、産学官連携や国際交流の推進の場、多様な利用者が活動・交流する地域に開かれた公共の場、災害時における防災拠点としての機能も期待されています。

また、令和5年度からはデータサイエンス学部が開設され、現在の8学部7研究科となり、総合大学としてのさらなる発展が期待されているところです。こうした背景を踏まえ、再編整備により、学生の多様な学習や活動の支援、学問・分野を超えた革新的な研究の推進及び地域連携・交流の促進に資する施設を実現し、大学としての魅力を高めるとともに、人でのぎわう、活気あるキャンパスを目指していきたくと考えています。

また、市立大学として、社会課題やニーズに対応した地域貢献、脱炭素社会の実現に向けた試みなどの社会貢献についても、取り組んでいきます。



現在の滝子キャンパス



現在の田辺通キャンパス

1期整備の概要／進捗状況

滝子キャンパス

1期整備として、図書館、多目的活動スペース、経済学研究科・経済学部及びデータサイエンス学部の研究施設等、教室、食堂、事務室、屋外運動場などの整備を行います。

『「地域」と「学び」をつなぐ地域貢献型キャンパス』をコンセプトに掲げ、魅力あふれる大学施設の実現に向けて、設計委託に係る公募型プロポーザルを行った結果、山下設計・FULL POWER STUDIO共同企業体が最優秀提案者に選定され、7月10日に契約しました。



滝子キャンパス 外観イメージ

田辺通キャンパス

令和9年度に理学研究科・総合生命理学部が滝子キャンパスから田辺通キャンパスへ移転することから、講義・実習機能や実験機能などを含む新棟の整備及び食堂や事務室の増築などを行います。

薬学研究科・薬学部と理学研究科・総合生命理学部の連携・交流促進や、学問・分野を超えた革新的な研究の推進に資する『自然科学領域をリードする研究拠点整備』をコンセプトに掲げ、魅力あふれる大学施設の実現に向けて、設計委託に係る公募型プロポーザルを行った結果、株式会社久米設計名古屋支社が最優秀提案者に選定され、7月24日に契約しました。



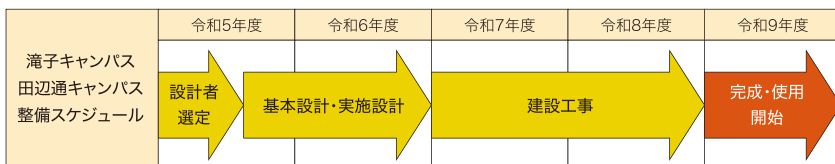
田辺通キャンパス 外観イメージ

※各キャンパスの外観イメージは公募型プロポーザルにおける設計者の提案であり、完成予想図ではありません。また、今後設計を進めるうえで変更となる可能性があります。

今後の整備スケジュール

令和4年度に取りまとめた基本計画に基づき、令和5・6年度に、1期整備に係る基本設計・実施設計を行います。

その後、令和7年度に工事着手、令和9年度当初からの1期整備部分の供用開始を目指すこととしております。



特集
2寄附講座「近世名古屋学」開設
千田嘉博教授が名市大に

2023年9月から、名古屋市からの寄附に基づき、本学へ新たに寄附講座「近世名古屋学」を設置し、城郭考古学の第一人者で、全国的に著名な千田嘉博氏を教授としてお迎えしました。それに先立ち、2023年8月20日(日)には、市民向け「お城」連続講座を開催し、子どもから高齢の方まで、2,000人を超える応募の中から抽選で選ばれた市民約500人が「お城博士」の講演に耳を傾けました。

第1部 千田嘉博氏による基調講演「信長の城 一勝幡城から安土城へ」

講師：千田 嘉博 氏 プロフィール

愛知県出身。1986年奈良大学文学部文化財学科卒業、同年より名古屋市見晴考古資料館学芸員として従事する。2009年に奈良大学文学部文化財学科教授、2014年～2016年に奈良大学学長を歴任し、2016年にNHK大河ドラマ「真田丸」の真田丸城郭考証を務める。研究テーマは「城から歴史を解明するだけでなく、市民とともにいかに保存・活用していくかを考察」すること。特別史跡名古屋城跡の石垣・埋蔵文化財部会委員を務める。主な著者に「歴史を読み解く城歩き」、「城郭考古学の冒険」、「日本の城辞典」などのほか、講演やテレビ出演など多数あり、日本有数の「お城博士」と呼ばれている。



第2部 パネルディスカッション

会場の皆さまからの質問にもお答えしながら、名古屋の歴史を学ぶ意義や歴史を学ぶことのおもしろさについて語り合いました。

パネリスト

- 千田 嘉博 名古屋市立大学特任教授
- 吉田 一彦 名古屋市立大学高等教育院特任教授(日本史学に関する史学史研究)
- 原 史彦 名古屋城調査研究センター主査(近世武家文化の調査・研究等)

コーディネーター

- 伊藤 恭彦 名古屋市立大学理事(教育)
なごや学研究センター長

<吉田>

最近、日本の各地で地域の歴史や文化をきちんと認識し、発信しようという試みが次々と行われています。改めて自分たちのまちの歴史を見直そうとする時代に、本学では「なごや学研究センター」を立ち上げました。本学ではこれまでも「名古屋学」に関する講義を開催してきましたが、この機会に、これまで以上に、本格的な研究が深まることが期待されます。このセンターを拠点に、名古屋城や名古屋市博物館といった名古屋市との連携を強化し、他の大学や研究者らを巻き込みたいと考えています。そして何より、市民の皆さまや学生らとの協働によって、自分たちの手で名古屋の自画像を明らかにできればと思います。



<原>

私たちの暮らすこの名古屋、かつての尾張藩はとても重要な場所だと思います。江戸時代におよそ260藩ある中で、いわゆる記録を残している藩は、1割あるかないかというところ。また道具を保存しているところも、1割あるかどうか。記録も、そしてかつて使っていた道具も残しているのは、日本全国の大名の中でも、尾張藩だけといわれています。尾張という地域は、それだけ豊富に史料が残っており、戦国時代も、それ以上前も、さまざまな興味深い歴史があります。意外と知られていない、気が付いていないことが、まだまだいっぱいある地域です。調査や研究を続けることで新たな知見も出てきますし、名古屋の歴史や文化は特におもしろいと思います。

<千田>

歴史って楽しいですね。暗記科目ともいわれていますが、大学で歴史を学ぶということは、より細かく詳しいところまで覚えるのではなく、本日のパネルディスカッションで話し合ったように、事実を改めて積みなおして、さまざまな史料や遺跡、絵図など、テーマによってはお祭りや仏像を調べたりして、新たな真実を明らかにしていくといった非常に創造的な学問であります。さらに、私が専門にしている「お城」ということで申しますと、「名古屋城調査研究センター」のように、最先端の学術の成果を生かして、名古屋城をより良い形で整備していき、みんなで歴史を体験することができる場所としてもっと良くしていく。まさに歴史を研究し、生かすということは、歴史に詳しくなるだけでなく、地域にとって価値があるものにする、これからの名古屋をより魅力的なまちとして創っていくことといった、生活にとってなくてはならないことを、実は歴史の研究が担っていると考えています。



※今後も「お城」連続講座を開催する予定です。ご期待ください。

特集
3

2025年4月 医学部保健医療学科(仮称) リハビリテーション学専攻開設を構想中



(構想中の情報は、今後変更となる場合があります)

リハビリテーション学専攻特設ページ↑

2025年4月、本学は医学部に新学科の設置を構想しており、東海圏の医療・福祉の向上に貢献する理学療法士・作業療法士の育成に取り組む予定です。保健医療学科は、本学の教育理念に則り、今後の社会の要請に応えるべく、幅広い教養と豊かな人間性、変化に対応できる汎用的能力など備え、優れた技術、実践力、論理性、協働性を身につけた質の高い保健医療職者を育成することを目的とします。

リハビリテーション学専攻では、名東区のみらい光生病院に併設するキャンパスを主とし、大学病院群での充実した実習を行います。そして、総合大学の利点を生かした分野横断的教育によりチーム医療について広く学ぶことで、地域医療に貢献できる理学療法士・作業療法士の育成を目指します。また、基礎から臨床まで幅広い領域の研究を実践していきます。

POINT.1

全国最大規模の附属病院群と連携した臨床実習・演習カリキュラム

POINT.2

最先端の科学技術を基盤とした医療やスポーツリハビリテーションが学べる

POINT.3

少人数でのグループ学習による能動的・効率的な学習

POINT.4

医師、薬剤師、看護師等と地域参加型の多職種連携教育

最先端リハビリテーション① 理学療法学

HAL(サイボーグ型自立動作支援ロボット)を活用したリハビリ

筋肉の活動を電氣的に計測し、最適な力の介助を与えることで動作を支援するロボット(HAL)を利用したリハビリテーションの実践です。介助を要する方でも自身の力で歩くことを可能とし、繰り返し練習することで歩行の自立を目指します。



※機材および設備の写真は、名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院の協力を得て撮影したものです。新学科に導入する予定の機種等とは異なる可能性があります。

最先端リハビリテーション② 作業療法学

MR(複合現実)を用いた3D形式のリハビリ

障害により物理的、時間的、空間的、条件的に容易でない行動や環境を、あたかも目の前ですぐ実現できるメリットがあります。作業療法室など現実空間の背景画像の中に仮想のデジタルデータを描写するヘッドマウントディスプレイを用い、没入感ある生活現場を体験します。例えば、空中に浮かんだ草花や食物を手指でつかむ・移動するなど自由に操作し、生活に必要な身体・認知機能を高めます。



特集
4

2023年度 夏のオープンキャンパスを開催しました

今年も本学の魅力を体感いただける夏のオープンキャンパスが開催されました。各学部感染症対策を行った上で、対面での開催方式に戻るとともに保護者の方も参加いただけるようになったことで、各学部も活気あるイベントとなりました。

また、人文社会学部ではここ数年で培ったWeb開催のノウハウも生かし、ハイブリッド形式を継続することで、これまでより多くの方にご参加いただけるように工夫しています。



人気スポット「TAKI teria」

滝子キャンパスで開催された経済学部、人文社会学部、総合生命理学部のオープンキャンパスでは、今年4月にオープンした「TAKI teria」も臨時営業し、大変盛況でした。



データサイエンス学部1年生も活躍

今年4月に新設されたデータサイエンス学部では、第1期生となった在学生もオープンキャンパスの運営をサポートしました。



データサイエンス学部1年 長谷川多聞さんコメント

実際にオープンキャンパスに参加してみて、未来の後輩たちの熱量がとても高いことに驚きました。長く椅子に座っていると飽きを感じるものですが、非常に多くの方が最後まで耳を傾けてくれて嬉しく思いました。自分の受験生時代を思い出し、その差に恥ずかしくなるくらいでした(笑)。

秋のオープンキャンパスも
順次開催予定

■医学部 10.29 SUN

■薬学部 10.14 SAT / 15 SUN

■経済学部 11.11 SAT

■芸術工学部 11.4 SAT

■総合生命理学部 11.18 SAT

■データサイエンス学部 11.11 SAT

詳細はウェブサイトをご確認ください→

※人文社会学部、看護学部はWeb(オンライン)開催



KEY PERSON

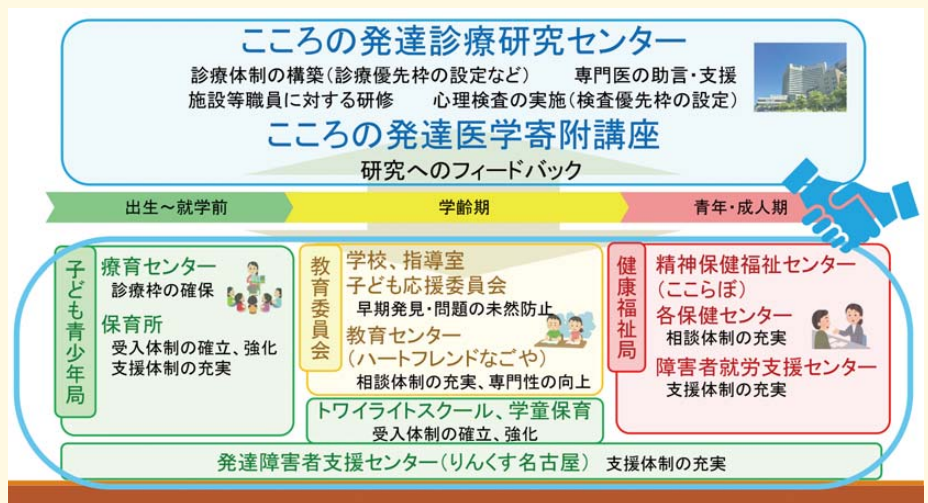


こころの発達診療研究センター

センター長 山田 敦朗

2023年8月1日(火)より、こころの発達診療研究センターを開設しました。また同時に「こころの発達医学寄附講座」という寄附講座も設置されました。センター長および寄附講座教授として務めさせていただく山田敦朗と申します。我々が取り組むのは発達障害を抱える方々に対する医療と支援です。発達障害は医学的には神経発達症と呼ばれます。こうした神経発達症は子どもだけでなく大人になっても問題が持続することがしばしばで、ライフスパン全体を通した支援が必要です。支援は医療にとどまらず、子育て、教育、就労といった日常生活全般に深く関わってきます。我々の使命は、名古屋市の子ども青少年局、教育委員会、健康福祉局の3局と協働して神経発達症の方々を支えていく体制を作っていくことです。

具体的には、調査研究として、(1)神経発達症に関する医学的な調査研究、(2)医療・保健・福祉・教育などの現場で活用できるアセスメントツールの開発、(3)神経発達症の診療に関わる医師を対象とする神経発達症研修プログラムの開発、(4)神経発達症の支援に関わる職員を対象とする発達支援プログラムの開発を行っていきます。そして研究成果を踏まえ、診療体制の構築、発達障害に関わる職員研修、困難ケースへの対応に関する助言、支援、全ライフステージにおける神経発達症に関する職員向け支援ガイドラインの作成といった連携事業も行っていきます。これから皆さまと協力していきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



大学院 医学研究科

名古屋市立大学病院

2023年6月1日(木)、名古屋市と「こころの発達医学寄附講座」の設置に関する協定を締結しました。就学前、学齢期、青年・成人期、それぞれのライフステージにおいて、さまざまな困難に直面している発達障害児への支援を行うため、名古屋市と連携し、本学に「こころの発達医学寄附講座」を設置しました。また、併せて市立大学病院に「こころの発達診療研究センター」を設置し、発達障害に関する研究・臨床拠点として高度な医療の提供を行ってまいります。



協定締結式の様子



開所式で挨拶をする郡理事長



センター前で記念撮影

2023年7月31日(月)には、名市大病院内で「こころの発達診療研究センター」の開所式を行いました。名古屋市の杉野みどり副市長にも出席いただき、センターへの期待の言葉をいただきました。開所を記念した看板の除幕も実施し、診療・研究の拠点としてスタートを切りました。



名古屋市立大学病院 名市大病院 新棟の正式名称が決定！

令和7年度開棟予定である新棟の正式名称を本学の職員・学生、市民の皆さまから募集した結果、次の名称に決定しました。

正式名称

「救急災害医療センター」

【考案者の意図・思い(原文抜粋)】

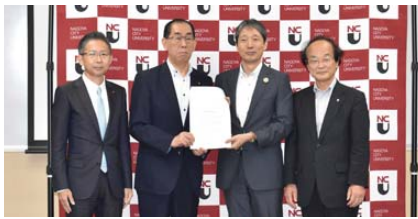
救急機能の強化、災害機能の強化、医療人育成のさらなる機能拡充という3つの要素を含んだ名称とし、救急、災害、医療人育成の3本柱が密接な関係を築くように、「救急」と「災害」と「医療」に文字間隔を詰めて、密接な関係を表した。



西方面から見る救急災害医療センター

今後も安心・安全を第一に工事を進めてまいります。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

DATE 2023.6.29



要望書手交の様子
左から中川総務大臣政務官、松本総務大臣、中田副市長、郡理事長

総務大臣、総務大臣政務官が本学を訪問しました

2023年6月29日(木)、松本剛明総務大臣が中川貴元総務大臣政務官とともに名古屋市立大学を訪問し、市立大学病院を視察しました。名古屋市から中田英雄副市長、杉浦弘昌総務局長が、本学からは郡健二郎理事長はじめ役員が同席し、意見交換を行いました。また、建設中の「救急災害医療センター」について、建設費高騰を踏まえた財政措置の要望書を総務大臣へ手交し、大臣は建設現場等を視察しました。

DATE 2023.8.19

大学院 医学研究科 第13回 形態科学シンポジウムを開催しました

2023年8月19日(土)、名古屋市立大学医学部研究棟11階講義室Aにて日本学術会議基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同細胞生物学分科会、基礎医学委員会形態・細胞生物医科学分科会主催の公開シンポジウムを共催しました。本シンポジウムは、高校生を対象に第一線で活躍する研究者との交流を通じて、生命科学の魅力を伝えるもので、基礎生物学研究所の阿形清和所長や、東京大学医科学研究所の谷口英樹教授に講演いただきました。講演のほかに、「現役研究者になんでも聞いてみよう!」というテーマでパネルディスカッションを行いました。



パネルディスカッションの様子

DATE 2023.9.3

西部医療センター 不妊治療に幅広く取り組む生殖医療センターを開設しました

2023年9月3日(日)、医学部附属西部医療センター内に新設される生殖医療センターの開設式と内覧会が行われました。翌日の開設に先駆けて行われた開設式には、郡理事長ら本学役員の他にも、愛知県医師会の大輪芳裕理事、名古屋市医師会の服部忠夫理事、名古屋市の成田たかゆき議長、名古屋市の中田英雄副市長をはじめ、非常に多くの皆さまにご出席賜り、開設をお祝いいただきました。西部医療センターは、この生殖医療センターの開設により、治療から出産まで、病院が一体となって総合的に男性・女性いずれの不妊治療に取り組むことが出来る全国的にも珍しい病院となっており、望んでも子どもをなかなか授からないカップルの力となれるよう、支援体制を整えています。



開設式でのテープカットの様子
左から中田副市長、成田議長、大輪理事、郡理事長、大原西部医療センター病院長



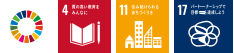
メディアからの取材を受ける
梅本生殖医療センター長

DATE 2023.8.4

名古屋市立大学病院 医療・介護機器の開発を目指す方への講演会を開催しました

2023年8月4日(金)、名古屋市立大学病院において、医療・介護機器の開発を目指して新規事業にチャレンジしようとしている方を対象とした「医療・介護機器開発を始める前に聞く講演会」が行われました。名古屋市立大学病院の医療デザイン研究センターとの連携のもと、名古屋市と公益財団法人名古屋産業公社が主催したこの講演会では、本学における医療・介護機器開発の取り組みの紹介や実績報告の他、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)理事長の藤原康弘氏による特別講演が行われ、参加された皆さまの挑戦を後押しするイベントとなりました。

DATE 2023.7.12



データサイエンス学部 データサイエンス学部開設
記念シンポジウムを開催しました!



孝忠氏による基調講演の様子 熱い議論が交わされたディスカッションの様子

2023年7月12日(水)に「データサイエンスと都市公共政策」と題した都市政策研究センターとの共同開催による学部開設記念シンポジウムを開催し、293名に参加いただきました。浅井学長の挨拶に続き、日本電気(株)AI・アナリティクス統括部長の孝忠大輔氏による「デジタル時代の人材像とデータサイエンスの未来」をテーマとした基調講演では、学部1期生に対する期待のエールが送られました。人間文化研究科の小林直三教授のコーディネートのもと、孝忠氏、名古屋役所総務局長の杉浦弘昌氏、データサイエンス学部の三澤哲也学部長、辰己賢一教授、原田峻平講師(現准教授)の5名によるディスカッションでは、産官学の立場からデジタル社会に求められる人材やデータサイエンスの可能性について熱い議論が交わされました。シンポジウムに参加した学部1期生達にとっては「新しいことに常に挑戦し、名市大のデータサイエンス学部を切り拓いていく学生になりたい」と気持ちを新たにする実りある機会となりました。

DATE 2023.5.13



大学院 薬学研究科
春の薬用植物園市民
公開講座を開催しました

2023年5月13日(土)に春の薬用植物園市民公開講座を開催しました。今年度も昨年度と同様に、土曜日の午前と午後の2回開催しました。おかげさまで、午前の回67名・午後の回34名計101名の参加者が通常は一般開放していない薬用植物園の中で色とりどりの植物について楽しみながら学びました。



公開講座の様子

データサイエンス学部
課外プロジェクトを実施中!

データサイエンス学部では、カリキュラムで履修する基礎科目、基盤・展開科目以外に、実際のデータを扱い行政、産業、学術など各界の現場における課題抽出や課題解決の体験を行う機会を提供することを目的とした「課外プロジェクト」を開始しました。第1回目は「Twitterデータを分析して名古屋市の人々がいつどんな幸せを感じているか」「地理情報空間データを用いた名市大生にお勧めの居住エリア探し」「企業とのワークショップ」などのプロジェクトに、延べ22名の学生が参加し、教員が提示した課題の解決を目指して、日々活動しています。課外プロジェクトに参加している学生からは「1年生のうちから実際のデータを活用し、教員と近い距離で活動できる点がいい」との声があり、楽しんで活動している様子が伺えました。今後も第2回目、第3回目のプロジェクトが企画されており、社会の発展に貢献できるデータサイエンティストを養成していきます。



ワークショップの様子

DATE 2023.6.5



データサイエンス学部
みずほ自治会にて「AIの今」についての
講演会が行われました

2023年6月5日(月)、瑞穂区内の中小企業、区政協力委員長、学区女性会長が会員をつとめるみずほ自治会において、データサイエンス学部の山本祐輔准教授が「ビッグデータ×ITイノベーション: AI技術でできること、できないこと」をテーマに講演を行いました。AIはどのような場面で活用されているか、AIが写真や文章をどのように理解・判断しているか、最近よく耳にするChatGPTとはどんなものか、AI活用におけるリスク等について説明し、講演後には活発な質疑応答が行われました。



講演会の様子

DATE 2023.9.6



人文社会学部 -みんなではじめるSDGs- 伊藤教授ゼミ
「NCU Global Justice Project」の取り組み
「ペンギン型リサイクルボックス」

ペットボトルをボトル本体、キャップ、ラベルに分割して3羽のペンギンに食べさせることができるユニークなリサイクルボックス。普段は、滝子キャンパス1号館1階の自動販売機の隣に設置されています(自動販売機のウミガメを中心としたデザインも2020年に伊藤ゼミに在籍した学生がデザインしたものです)。2023年9月6日(水)には、名古屋港水族館に出張して設置され、たくさんの家族連れ等がペットボトルのリサイクル回収への意識を高めるきっかけとなりました。



リサイクルボックス(右)とウミガメがデザインされた自動販売機(左)。伊藤ゼミでは、環境を守る取り組みを継続して実施しています。



名古屋港水族館に出張して設置されたペンギン型リサイクルボックス

DATE 2023.8.10



名古屋市交通局との包括連携協定締結を
記念したシンポジウムを開催しました

2023年3月17日(金)に名古屋市交通局と本学との間で包括連携協定を締結し、それを記念したシンポジウム「はじめよう!はつらつ生活といきいき街づくり～生涯健康のための公共交通の活用術～」を8月10日(木)に開催しました。本学医学研究科赤津教授をはじめ、名古屋市交通局、国立長寿医療研究センター、中日新聞記者の方に登壇いただき、「公共交通を積極的に活用した外出の魅力」、「高齢者の介護予防・心身の健康増進」をテーマにした講演やパネルディスカッションを行いました。当日は市民、行政、大学関係者など約200名が参加し、盛況のうちに幕を閉じました。



講演会の様子



パネルディスカッションの様子

最先端研究を体験するイベント ひらめき★ときめきサイエンスを開催しました

「ひらめき★ときめきサイエンス」は、最先端の研究成果を子どもたちに発信し、大学ではどのような研究をしているのか、研究者や教員はどういうことを考えているのかなど、さまざまな実験を通して、科学の楽しさ・不思議さに触れてもらい、豊かな心と知的創造性を育てるプログラムです。

2023年8月22日(火)に「病気から体をまもる研究を丸ごと体験してみよう」と題し、高校生約20名に向けて本プログラムを開催しました。どのように病気が進行するのかを模擬講義や実験を通じて学び、実験終了後、参加した高校生たちは実験結果を発表し、質疑応答、フリーディスカッション後、参加者全員に「未来博士号」が授与されました。



実験の様子



説明を受ける高校生

大学院 芸術工学研究科 名古屋市西区と協働で

選挙ポスター教室を行いました

2023年8月7日(月)、8日(火)の2日間、名古屋市西区役所で芸術工学研究科 森研究室による選挙ポスター教室が開催されました。選挙への関心をもってもらうきっかけづくりを目的に、それぞれがテーマをもって、構図や色などのデザインで表現しました。中にはあっと関心が向くようなデザインのポスターもあり、ポスターを見た子ども、大人が選挙と向き合いたくなる、投票したくなる、そんな作品がたくさん生み出されました。

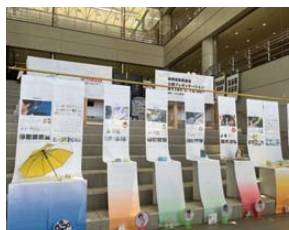


アーバンデザインの卓

芸術工学部 卓展2023開催報告



卓展プロジェクトメンバー集合写真



プロダクトデザインの卓



アーバンデザインの卓

2023年8月18日(金)~20日(日)、芸術工学部の学生による作品展示会「卓展2023」を開催しました。4年生をリーダーとしてさまざまなジャンルのプロジェクト(=卓)を立ち上げ、サービスデザイン、CG、写真・グラフィックデザイン、UXデザイン、アーバンデザイン、サウンドデザイン、カーデザイン、プロダクトデザインなどの展示会を行いました。多くの来場者からご好評をいただき、大盛況のうちに終了しました。

みどり市民病院

メイコー

最新の人工関節支援ロボットMakoシステムを導入しました

2023年9月、みどり市民病院整形外科に人工関節支援ロボットMako(メイコー)システムを導入しました。Makoシステムとは、コンピューター制御されたロボティックアームを用いた手術支援システムのことです。CTによる3次元画像データをもとに手術計画を立て、インプットすることで、より安全かつ正確な手術が可能になります。本診療科では関節・スポーツの治療に特に力を入れており、地域の皆さまが安心して治療し、笑顔で社会復帰できるようサポートいたします。

Makoシステムの
特徴

- ① CT画像を用いた高度な3次元術前計画 → 高精度で長持ちする人工関節
- ② 術中の靭帯バランスをリアルタイムに調整 → より自然な関節の機能を期待
- ③ ロボティックアームの制御 → 軟部組織への不意な損傷を軽減



令和4年度 成績優秀者表彰(瑞秀賞)を行いました

2023年5月22日(月)、令和4年度に優秀な成績を修めた学生を表彰する「瑞秀賞」の表彰式が行われ、各学部の受賞者44名に表彰状と後援会贈呈の記念品が授与されました。今後も学業、そしてさまざまな取り組みに励まれることを期待しています。

■ 医学部	■ 薬学部	■ 経済学部	■ 人文社会学部	■ 芸術工学部	■ 看護学部
高良 志織	岩崎 わかば	磯部 佳乃	小林 弘果	大竹 未来	大久保 美咲
野場 優佑	新海 斗馬	伊藤 なずな	笹山 春華	越智 恵	野首 杏佳
藤井 祐宇	武田 百佳	大島 朋華	寺澤 真桜	川瀬 陽大	邨瀬 友菜
松井 敬哉	中内 美京	小幡 岳人	殿畑 結香	滋野 太貴	
	藤井 くるみ	川畑 和佳奈	長尾 歩果	島田 彩矢	■ 総合生命理学部
	村林 華	竹内 大翔	橋本 あかり	牧野内 柚香	大竹 裕太
	ほか1名	中山 美月	水間 玲衣	吉積 怜生	河野 晶葉
		長坂 理央	村上 聖奈	吉田 果歩	富永 葉
		家森 理彩子	村田 実桜	LOO MINXING	

※敬称略。学部ごと、五十音順に掲載。



各研究科長も出席のもと、浅井学長から表彰を受けました

INTERNATIONAL ↔ EXCHANGE

国際交流



ブラウィジャヤ大学(インドネシア)との拠点設置合意 および締結式を開催しました

本学は、大学間交流協定締結校のブラウィジャヤ大学(インドネシア)と、海外拠点設置合意に関する協定を締結しました。それに伴い、2023年5月25日(木)に本学にて締結式が開催され、先方からは学長はじめ9名の研究者らが本学を訪問し、本学からは10名の関係者が参加しました。締結式にて、ブラウィジャヤ大学のウィドド学長は「研究者と学生の交流を促進したい」、本学の浅井学長は「これまでに受け入れたブラウィジャヤ大学からの学生の学業成績に感銘を受けています。今後多くの学生を受け入れていきたい」と話されました。

締結式後には、ウィドド学長による講演会「健康増進へのインドネシア伝統医学の生命情報学的活用」が開催され、研究者同士の活発な意見交換がされました。



締結式参加者の集合写真



(左)ウィドド学長、(右)浅井学長

留学生交流会—Friendly Party 2023—を開催しました



参加者の集合写真

2023年6月23日(金)、滝子キャンパス生協食堂にて、留学生後援会、留学生会、国際交流センター公式団体「NCU GO!」、「よいしょ」の共催により「留学生交流会—Friendly Party2023—」が開催され、本学に在籍する外国人留学生・日本人学生・教職員等、総勢約80名が参加しました。



クイズ大会の様子

昨年年度までは、新型コロナの影響によりオンライン開催となっていたため4年ぶりの対面による開催となりました。各国からの留学生による母国紹介プレゼンテーションや、チームに分かれてのクイズ大会が行われ交流を深めました。

ハルリム大学(韓国)を訪問しました

2023年5月17日(水)～5月21日(日)の日程で、郡健二郎理事長、浅井清文学長をはじめとした本学教職員総勢15名が、海外拠点設置合意校である韓国のハルリム大学を訪問し、大学間の更なる交流の発展と研究者の交互交流を目指し、主に医学研究科の若手研究者を中心とした国際合同シンポジウムを開催しました。

また、ハルリム大学は本学同様5つの附属病院を持つことから、附属病院群のシステム連携について施設見学及び情報交換を実施しました。



国際合同シンポジウム参加者の集合写真

ブカレスト工科大学(ルーマニア)との 大学間交流協定および 学生交流協定を締結しました

本学は2023年5月、芸術工学部辻村教授が中心となり、ブカレスト工科大学(ルーマニア)と大学間交流協定および学生交流協定を締結しました。

先方大学とは、令和元年に学部間交流協定を締結しており、辻村教授の尽力により全学レベルに協定が発展したものととなります。2023年10月からは、同大学から国費外国人留学生の受入を予定しており、今後の益々の連携が期待されます。



ブカレスト工科大学



学生の活躍

公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会と 愛知学長懇話会との連携協定締結式にて 本学学生が学生代表として意気込みを語りました



2026年に愛知・名古屋で開催予定のアジア競技大会及びアジアパラ競技大会に関わる活動を通して、学生が大会に主体的に関わり、成長に繋がる取組を実施することを目的として、公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会と愛知学長懇話会との連携協定締結式が2023年6月16日(金)に愛知県庁にて開催されました。本学からも学生2名が出席し、そのうち人文社会学部3年の辻風花(つじ ふうか)さんが学生代表の一人として意気込みを語りました。



意気込みを語る辻さん(写真手前)

辻風花さん(人文社会学部3年)コメント

アジア競技大会のような国際的なスポーツの祭典は、国や人種、主義や宗教を越えて多様性を認め合う“平和の祭典”だと思います。これからの国際平和を担っていくのは自分たちだという思いを持って行動し、愛知県の学生が一丸となって、大会を盛り上げていきたいです。



締結式での集合写真



会場内のブース出展では、来場者と共に持続可能な社会を考えました(写真左から早川さん、松井さん、河内さん、小堀さん、殿畑さん、山口さん)

人文社会学部 SDGsセンター



中日SDGsフェアに参加

本学は、2023年8月27日(日)にウインクあいちで開催された中日SDGsフェア(中日新聞社主催)に参加しました。当日は、学生によるプレゼンテーションが行われ、昨年度のSDGs IDEA FORUM 2022で最優秀賞を受賞した「ぱくツーリズム」(人文社会学部曾我幸代准教授ゼミ)の学生が、SDGs IDEA FORUM 2022後の取り組みについて発表しました。このほか、本学SDGsセンターと「ぱくツーリズム」の学生が共同でブース出展し、本学の教育、研究、学生活動等におけるSDGs活動について来場者に紹介しました。

河内翠さん、早川美希さん、松井聡美さん(人文社会学部4年)コメント

多くの方が活動に興味を示してくださり、名古屋の食について学びを深める様子や食への関心を抱く様子が見られ、この活動のやりがいと達成感を得ることができました。また、同じ「食」というテーマで活動している大学生や、お子さんからご高齢の方まで幅広い世代の人との交流を通して、誰一人取り残さない持続可能な社会について、改めて考える機会となりました。この経験を今後の私たちの行動に生かしていきたいです。



学生によるプレゼンテーションの様子

経済学部

「2023年度 未踏IT人材発掘・育成事業」でプロジェクトが採択



経済学部3年 小島聡太さんが取り組むプロジェクトが「2023年度未踏IT人材発掘・育成事業」で採択されました。

小島さん(経済学部3年)コメント

〈取り組んでいる活動〉

テーマパークでの満足度を最大化するために、当日のプラン作成を支援するアプリケーションを開発しています。機械学習、進化計算、アプリ開発の技術を組み合わせることで、個人の希望や趣味嗜好を反映したプラン作成を実現しています。個人の体験に貢献するだけでなく、リアルタイムでユーザーをコントロールすることで、テーマパークのトラフィック制御にも役立つ可能性があります。

〈採択を受けて〉

採択されたことを嬉しく思います。ただし、採択されたというだけでプロジェクトが成功したわけでも社会や皆さんの力になれたわけでもありません。今後も気を緩めることなく、日々研鑽を続け、プロジェクトの成功を目指して参ります。また、イノベーションの創出及び社会の発展という役割を担う1人の若者としてこの機会を生かし、チャレンジを続けていきます。



ブース会議(採択者のプロジェクト発表会)にて

写真提供: 独立行政法人情報処理推進機構



学生の受賞

※学年は受賞時

大学院 医学研究科 薬学部 大学院 薬学研究科

日本薬学会 第143年会

●学生優秀発表賞(口頭発表の部)

<受賞者>

- 医学研究科博士課程1年 認知症科学分野 上西 涼平 さん
- 薬学部生命薬科学科4年 病態生化学分野 徳永 柊 さん
- 薬学部薬学科5年 衛生化学分野 向井中 玲菜 さん
- 薬学部薬学科5年 臨床薬学教育研究センター 横井 杏菜 さん
- 薬学研究科博士前期1年 生命分子構造学分野 保科 明 さん
- 薬学研究科博士前期1年 病態生化学分野 川瀬 宗之 さん
- 薬学研究科博士後期2年 薬品合成化学分野 安藤 龍志 さん
- 薬学研究科博士課程3年 病院薬剤学分野 海老原 大希 さん

●学生優秀発表賞(ポスター発表の部)

<受賞者>

- 薬学部生命薬科学科4年 薬物送達学分野 十時 拓大 さん
- 薬学部薬学科5年 医薬品安全性評価学分野 濱上 敦史 さん
- 薬学部薬学科6年 生薬学分野 吉野 蒼生 さん

大学院 理学研究科

第47回 有機電子移動化学討論会 優秀講演賞

<受賞者>

理学研究科博士前期課程2年 理学情報専攻 今井 友也 さん



PRIZE 受賞

※受賞期間:2023年4月~2023年7月頃 ※研究科・学部ごと、受賞日順に掲載



■薬学研究科

化学情報協会JAICI賞



<受賞者>
薬学研究科
薬品合成化学分野 講師
池内 和忠

■人間文化研究科

第119回 日本精神神経学会学術総会 優秀発表賞



<演題>
「医学生の内閉症様特性と臨床実習中のバーンアウトや抑うつとの関連について」
<受賞者>
医学研究科
精神・認知・行動医学分野 助教
渡邊 孝文



<演題>
「社交不安症に対する認知行動療法の治療反応予測モデルの作成:機械学習アプローチ」
<受賞者>
人間文化研究科 臨床心理コース
寄附講座教授
小川 成

■人間文化研究科 ■看護学研究科

小児保健協会 小児保健奨励賞



<受賞者>
人間文化研究科 人間の成長と発達分野(社会と教育) 教授
上田 敏文(写真左)
名誉教授
堀田 法子(写真中央)
看護学研究科 成育保健看護学 准教授
遠藤 晋作(写真右)

■名古屋市立大学病院

愛知県看護功労者



<受賞者>
名古屋市立大学病院副院長
看護部長
村田 佐知子



令和5年度 愛知県看護協会会長表彰

<受賞者>
名古屋市立大学病院管理課
水野 千枝子(元副看護部長)

イベント参加者募集!

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

開催日	内容	時間・場所・費用など	申込方法
10.5 THU - 11.23 THU	市民公開講座 健康・子育て・AIなど10講座	各キャンパスにて開催 費用:500円	<申込>詳しくは本学ウェブサイトをご覧ください。 https://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/event/kokaikoza/
11.5 SUN	第2回 人生100年時代の高血圧セミナー	14:00~16:00 名古屋市立大学病院3階 大ホール 費用:無料	<申込>不要(先着300名) <問い合わせ先>TEL:052-704-2345
11.11 SAT	なごや看護実践セミナー ①心不全を知ろう 一地域で心不全患者を支えるために一 講師:川瀬 麻友香 ②家族支援とオープンダイアログ 講師:門間 晶子、加藤 まり ③臨床倫理の4分割表を使いこなす 講師:澤田美和 ④急変させないためのアセスメント 能力を高めよう(ベーシック) 講師:加藤 紀子、稲尾 景子、寺澤 涼子	場所共通:桜山キャンパス 看護学部棟 ①11月11日(土) 9:00~12:00 費用:3,000円 ②11月11日(土) 13:00~16:30 費用:4,000円 ③12月2日(土) 10:00~15:00 費用:4,000円 ④12月23日(土) 9:30~14:30 費用:4,000円	<申込>メール、名古屋市電子申請 n.center@med.nagoya-cu.ac.jp <問い合わせ先>TEL:052-853-8042 <申込締切日> ①10月26日 ②10月26日 ③11月9日 ④12月8日 参考URL: https://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/center/
11.14 TUE	どうする看護研究 ③いるのは「は」・質的研究の基礎 講師:大橋 麗子	10:00~15:00 桜山キャンパス看護学部棟 費用:4,000円	<申込>メール n.center@med.nagoya-cu.ac.jp <問い合わせ先>TEL:052-853-8042 <申込締切>10月23日 参考URL: https://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/center/
12.12 TUE	個別で看護研究 講師:看護学研究科教員 <以降の日程> 2024年1月30日、2月13日(全て火曜日)	9:00~16:00 (各組30分程度) 桜山キャンパス看護学部棟 費用:500円	<申込>メール n.center@med.nagoya-cu.ac.jp <問い合わせ先>TEL:052-853-8042 <申込締切>12月12日は、10月10日 1月30日は、11月10日 2月13日は、12月10日 ※当日申込受付は14:30に看護学部棟1階ロビーへ

NCU FES. 2023 大学祭日程

日程	開催場所
薬学祭 10.14 SAT / 15 SUN	田辺通キャンパス
川澄祭 10.28 SAT / 29 SUN	桜山(川澄)キャンパス
芸工祭 11.4 SAT / 5 SUN	北千種キャンパス
市大祭 11.11 SAT / 12 SUN	滝子(山の畑)キャンパス

※詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。



昨年の大学祭の様子



寄附顕彰

大学振興基金

■個人

- 100万円以上 鬼頭 順子 様
- 10万円以上 大橋 憲詞 様、鎌田 泰弘 様、久野 温士 様、鈴木 尚美 様、富田 夏夫 様、山本 喜通 様
- 5万円以上 五十嵐 正彦 様
- 1万円以上 佐野 吉広 様
- 非公表 勝野 さおり 様、小林 いく子 様、真田 秀雄 様、西井 宏行 様、野倉 一也 様、松田 文成 様、和田 由美子 様

■団体

- 10万円以上 尾崎ハウス工業(株) 様
- 非公表 日本空調システム株式会社 様

名古屋市大生みらい応援基金

■個人

- 非公表 西井 宏行 様、野倉 一也 様、堀本 恵子 様、和田 由美子 様

※五十音順。2023年4月1日から6月30日までに寄附をいただき、公表に同意された方。
※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。
※古本募金により寄附をいただいた方につきましては、連携会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。

感謝状贈呈式が行われました

本学の大学振興基金に対して、鬼頭順子様より高額のご寄附をいただきました。そのご厚意に対し、郡理事長から感謝状が贈呈されました。



贈呈式での記念撮影 (左)郡理事長 (右)鬼頭様



【SDGsのアイコン(1~17のGOAL)】

SDGsとは「Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標」の略称で、17のGOALが設定されています。本学もSDGs達成に向けた活動を推進しているため、関連するGOALのアイコンを各記事に表示しています。

募集中!

広報誌「創新」のご意見・ご感想などをぜひ総務部 広報室までお寄せください!

▶▶▶ E-mail : ncu_public@sec.nagoya-cu.ac.jp